



危機を乗り越え、 ポストコロナの新時代に挑む

兵庫県知事 井戸 敏二

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルスとの戦いの年でした。しかし、未だ終息にはほど遠い状況です。

一方、コロナ禍は社会を変革する契機ともなりました。県民とともにこの危機を乗り越え、地域創生やデジタル化に力強く取り組み、ポストコロナ社会を先導する活力あふれる兵庫をめざします。令和3年は本格的に歩みを進める年とします。

第1は、新型コロナ対策の充実。自宅療養ゼロを堅持しつつ、入院病床や宿泊療養施設を十分に確保します。マスク着用の徹底、検温の実施、外出抑制、感染リスクの高い施設の利用を控えるなど、家庭、職場、施設へウイルスを持ち込まない地道な取組が何より大切です。一人ひとりの行動が大切な家族や友人、仲間の命を守ることに繋がります。是非、ご協力をお願いします。

第2は、兵庫の元気回復。経済の下支えを図りつつ、スタートアップ拠点を活用した起業・創業の支援、新たなサプライチェーンの構築を後押しします。兵庫と東京を専用回線で結び、情報ネットワークにより東京圏からの企業誘致も促進します。農林水産業のスマート化も急務です。“都市部から地方へ”の潮流を捉え、兵庫への呼び込みを図ります。

第3は、安全安心の基盤強化。コロナ禍でも自然災害は待ってくれません。地震・風水害に備える安全な県土づくりを進めます。県民が安心して暮らせる福祉の充実も強化します。

第4は、ポストコロナも見据えた兵庫の未来づくり。「2030年の展望」を具体化する取組を進めるとともに、2050年頃を目標年次とする新ビジョンの策定に向けた検討を加速させます。

我々は、戦災、様々な自然災害など、幾度もの危機を乗り越えてきました。阪神・淡路大震災もそうでした。

再び、県民の叡智を結集して、兵庫の新時代をともに築き上げるため、挑戦していこうではありませんか。

**コロナ禍を乗り越えていく 県民の
ひたむきな歩み 夢をめざして**



「FM わいわい」(2020年12月5日放映)
『ソズキュ放送』Sōzū TV (2020年11月26日放送)
などの現地報道を金千秋司会者は取り上げる。

感謝され続
の者、人々
感謝され続
の者、人々
感謝され続
の者、人々

2020年1月4日に、アフリカ大陸ガーナ国ワで、「カヨ子基金」の孤児の家の開所式が現地報道でとりあげられました。

理事長 岩村義雄

コロナ禍だからこそ、
のがボランティア道 寄り添う

10月30日午前11時50分頃、地中海エーゲ海で地震、津波が発生。トルコの災害緊急事態対策庁(AFAD)は、死者100人、負傷者994人、147人がまだ入院していると報告しました(11月3日)。

11月22・27日に、トルコを筆者は訪問。ソイヤー総合市長に面談。日本からのボランティア団体の代表が来るというところで、TVなど報道機関は待ち構えていました。井戸敏三兵庫県知事、久元喜造神戸市長からの親書を手渡しました。トルコもヨーロッパでコロナウイルスの蔓延が欧州で一番神経質になっている時でした。ボランティア道の動機が受け入れられ、日本を出国、トルコに入国、スムーズに帰国できたことは感謝でした。目下、日本の里親を募集中です。

利他の動機で行動する精神は、壁を

打ち破ります。国境、国の規則、言語を超える隣人愛が今、世界で必要です。志半ばで倒れるかもしれません。日本でも天平時代、三分の一がパデミックで亡くなっています。僧侶たちは天然痘の病人の世話をしていました。日本人は仏教の慈愛に目覚めたのです。ローマ帝国がキリスト教を国教にしたのはなぜでしょうか。262年頃、ローマ、ギリシアで半数近くの市民は疫病で死んでいます。キリスト者はこうした中、看病に努め、死を恐れずにケアをしました。そうした献身的なボランティアによって、ローマ皇帝が迫害から国教へとシフトする原因と考えられます。救急車はスピード違反であつても、現場にかけつけます。人間のいのちが関係しています。法律を守ることが大切ですが、超法規に立ち上がる勇氣は決して精神主義、無謀、向こう見ずではありません。孤児のためにご協力をお願いします。

ヤマザキ
世界のパン
ヤマザキ

Otsuka
株式会社 大塚製薬工場
〒772-8601
徳島県鳴門市撫養町立岩字芥原115
TEL 088-685-1151(代表)

MiYOSHi
ミヨシ石鹸株式会社
〒130-0021
東京都墨田区緑3-8-12
TEL 03-3634-1341

想いをかたちに 未来へつなぐ
TAKENAKA
竹中工務店
〒541-0053 大阪市中央区本町 4-1-13
〒136-0075 東京都江東区新砂 1-1-1



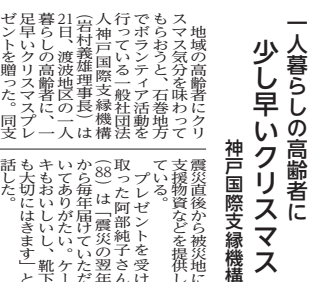
クリスマスケーキを喜ぶ仙台朝鮮初中級学校



クリスマスの集い サンタの訪問



『杜鹿新聞』(2021年1月1日付)



農ボランティア募集

代表 村上裕隆 第12次球磨川ボランティア 2021年1月17-20日



熊本県球磨郡相良村 2021年1月19日

2020年7月4日の災害支援から、復興支援にシフト。熊本県相良で友田謙吾&町子夫妻から田んぼを提供してもらいました。無農薬、有機の安全なヒノヒカリの田起、トロトロ層づくり、田植え、稲刈り、天日干し、脱穀。

コロナ禍にあっても、ヒトではなく、大地と会話をします。

参加なさりたい方は、

岩村義雄 (070-5045-7127)、
村上裕隆 (080-3101-1151)、
本田寿久 (090-3706-2315)

に電話をください。

同時に、宮城県石巻市渡波でも、同様の農ボランティア募集です。

初めて地球を一回りした日本人
『石巻若宮丸物語』(13) 阿部 和夫

太十郎の自殺未遂

碇泊しているナジェエジダ号は、薩摩藩等五十艘程の警備の船に取り囲まれていました。そして、船に食糧は届けられても、肝心の交渉についての返事は示されませんでした。

レザノフは、上陸を希望しますが許可されません。四人はせっかく帰国しても自分達は見捨てられたのではないかと、不安も強くなっていきます。九月二十二日、レザノフは、体調を崩したので上陸しての静養を希望しますが、それが許されるのは十一月十七日になってからです。それも、レザノフ以下四人を含めて二十人だけで、竹矢来で囲んだ梅ヶ崎の屋敷に軟禁状態といえるものでした。

その一か月後、六十郎が自ら喉に剃刀を突き立て、かき回そうとしたところを止められます。この時、治療に当たった医師吉雄幸載の診断書に拠れば、「舌に一寸二分(4cm)深さ一分余(3mm)、喉向突疵四分余(1cmちょっと)治療乃至六ヶ敷所にて」とあり、命はとりとめますが、治療の難しさを訴えています。以後、太十郎は口がきけなくなってしまうのです。

太十郎の自殺未遂については、二つの可能性が考えられます。

一つは、前途に絶望してノイローゼ状態のためと思われ、四人が長崎に到着したのが九月六日、それから三か月以上経っているのに、四人に対して何の音沙汰も無しです。仮に引き渡されても、待つているのは牢獄だけではないか。その様な想いが強くなり、自殺を図ったかもしれないという見方です。

二つ目は、本当に死ぬ気ではなく狂言自殺ではなかったかという見方です。彼は頸動脈を切るのではなく、口の中で剃刀をかき回そうとして、その後は喋れなくなりました。ところが、レザノフとの別れの時、抱擁した彼の耳元で、ロシア語でお礼の言葉を囁いてるのです。周りには喋れなくなっただけで、上陸後の証言拒否をするため自殺を偽装した可能性も考えられます。

レザノフは、この様なことがまた起こり得ることなので、四人を日本側で引き取って欲しいと強く訴えます。しかし、事態は好転しませんでした。

日露の正式交渉がないまま、その年(二八〇四年)は過ぎ去ってしまいました。



TAMANOHADA

代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp

Humanity First

「ヒューマンティファスト」
日本アハマディア・ムスリム協会弁護士法人
芦屋西宮市民法律事務所

津久井 進

日弁連災害復興支援委員会委員長
兵庫県弁護士会所属

TEL: 0798-68-3161

ミヨシ共栄株式会社

東京都墨田区緑 3 丁目8番12号

クロアチア地震救援募金、 および里親募集

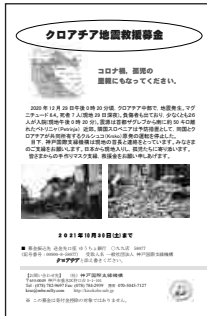
クロアチア中部で12月29日午後8時半頃、地震発生。

マグニチュード6.4。死者7人(現地29日深夜)。負傷者も出ており、少なくとも26人が入院(現地午後0時20分)。

震源は首都ザグレブから南に約50キロ離れたペトリニャ(Petrinja)近郊。隣国スロベニアは予防措置として、同国とクロアチアが共同所有するクルシュコ(Krsko)原発の運転を停止した。

海外ボランティア

国際部 佐々木美和



インドネシア国スラウェシ島で マグニチュード6.2地震発生

2021年1月15日深夜2時28分に地震による倒壊などで、死者7人、600人負傷、数千人が行方不明(1月15日)。西スラウェシ州

にある県都マムジュ(Mamuju)は人口27万2511人。

2018年9月28日、のスラウェシ島パル(Palu)でマグニチュード7.4を越す大地震。6メートルを越す大津波で被害。9月30日現地入りした神戸国際支縁機構は、「カヨコ・チルドレン・ホーム」をパルに建造。その支部長、ステファン・イエニ・リンボキ氏から緊急連絡が入りました。日本の久留島琴さんからも一報が入りました。



(一社)神戸国際支縁機構

- ボランティアや移住者募集中
農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。
- 被災地への支縁物資もお願いします。
- 年会費をお願いします。(月に200円)
会員(年度4月～翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。
- 海外の孤児のために支縁金をお願いします。

趣旨に賛同してくださる方は、何口でも結構ですので、
ご協力をお願いします。
本会員は、一口2,400円/1年
賛助会員は、一口5,000円/1年
・郵便振替 口座 00900-8-58077
加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構
・三菱UFJ銀行 462(三宮支店) 普通 3169863
神戸国際支縁機構 岩村義雄
海外の災害緊急募金には必ず『国名』を書き添えてください。

本田哲郎セミナー

毎月第3金曜日上午10時～
勤労会館4階

岩村義雄セミナー

毎月最終月曜日午後6時半～
ミント神戸17階

編集後記

神戸国際支縁機構との出会いは東遊園地(神戸市役所隣)です。2014年4月だったでしょうか、毎週木曜日に炊き出しに来てくださるようになってからです。いつしか、西日本豪雨ボランティアの被災地に、田村晋作さんと一緒に汗を流していました。はじめてキリスト教会の礼拝に出てから、被災現場に向かいましたけれど、初対面でも昔からの友達のように分け隔てがぜんぜんありませんでした。千葉県南房総布良では、一回目の時、沖浦宏隆さんにごちそうしていただきました。人生をどのようにやり直されたかを聞かされ、ボランティアに行くことが楽しくなりました。いつしか炊き出しの班長としてメニュー、炊事、後片づけをして、路上生活者に喜んでいただける「はたらき」にやりがいを見出しています。一年前に機会を与えてくださった楠元留美子前班長、神戸フィラデルフィア教会に感謝しています。

東遊園地炊き出し班班長 堀 浩一



救援金、維持会費ご協力を感謝します。(敬称略)

2020年10月18日～2021年1月23日

岩村義雄, 神戸国際キリスト教会, 大島健二郎, 島田信一, 東灘パプテスト教会, 大槻紀夫, 福井啓子, 廣瀬素子, 澤野重男, 榎日進, 孫 正浩, 久留島琴(3), 中道澄春&春江, 太田登志, 神戸聖福教会(3), 李敬淑(3), 合同会社 Bless 泉 真姫(3), 保田 薫, 本田寿久, 土手ゆき子, 土手 朋, 石井泰代, 的野慶子, 新井克英(千葉県館山), 池永タケコ(2), 安田吉三郎, 坂牧弘, 豊原大成[全国仏教会前理事長], 古本純一郎, 古本佳世子, 神戸朝鮮高級学校, 許 敬, 村田優美子, 竹内喜子, 吉持志保, 三浦一敏(宮城県石巻市), 吉持志保, 中山圭子, 三宅幸子, 緒方俊一郎(熊本県球磨郡), 苅部真砂子, 畑谷恵美子, 有限会社吉田興業 吉田 明, 秋田喜代子, 白方誠彌(2), 岩間 洋, 岩間千恵子, 岩崎勝行, 沖浦宏隆(千葉県布良), くまがいマキ, 島内糸夫, 袴田康裕, 藤原りつ子, 「小さくされた人々のための福音」講座, 千葉幸一(宮城県石巻市)(2), 白瀬小一郎(2), 山本桂, 神部隆三(2), 阿部和夫・斉子(宮城県石巻市)(2), 有年米子, 東原良学(4), 山野英雄(宮城県大崎市), 藤原光代, 野崎和子, 太田妙子, 東垂水ルーテル教会, 山下 寛&弘美, 鳥飼慶陽, 山本美和子, 神戸新聞会館聖書のことばシリーズ, 第10回平和合同祈禱会, アシュラムセンター, 榎本 恵, 泉 晴代, 岡田和子, 祐照寺(古川真照住職), 松崎 徹, 松崎真里, 小菅あゆみ, 原田洋子(事務局), 宮氏道夫, 豊島睦子, 石川雅也, 主イエス恵愛教会, 高橋 務, 藤井悦子, 沖 菜穂子, 熊野千秋, 村田義人, 小島千鶴, 本田洋子, 村上安世, 佐藤佳子, 丹野恵子(宮城県石巻市), 小久保玲子, 池田久美子, 穴戸義光(宮城県石巻市), 池口美喜子, 高橋一正(3), 嶋田博信&礼子(千葉県布良), 垂水朝禱会, 酒巻喜代香, 釧路キリスト福音館, 藤野知香, 中外日報社, 高島邦生, 藤 玄洋(朝倉市西宗寺住職), 岩崎 謙, 畑 夏月, 河内常男(2), 在日大韓基督教会神戸教会, 坂本直子, 太鶴 勝, 古川直子, 豊原正尚(西福寺副住職), 森田美芽, 大島健二郎, 高島邦生, 西上千栄子, 糸島聖書集会, 野上勇次, ミヨシ共栄株式会社, 青木, 柳澤 豊, 村上裕隆, 忠内 一由, 忠内有紀, 川井浩三, 匿名

748,900 円

海外支縁(ガーナ, タンザニア, クロアチア, インドネシア国マムジュ, マスク送料支縁)

岩村義雄, 神戸国際キリスト教会, 神戸聖福教会, 李敬淑, 合同会社 Bless 泉 真姫, 東原良学(4), 藤原秀浄(法専寺住職), 東灘パプテスト教会, 大槻紀夫, 平澤久紀, 福井啓子, 島田信一, 澤野重男, 新井克英(千葉県館山), 土手 朋, 竹内喜子, 高橋一正(3), 秋田喜代子, 藤原りつ子, 千葉幸一(宮城県石巻市)(2), 相浦恵子, 藤原光代, 太田妙子, 小菅あゆみ, 沖 菜穂子, 佐藤佳子, 主イエス恵愛教会, 高橋 務, 岡田和子, 白方誠彌, 湯川絃未, 藤野知香, 坂本直子, 久留島琴, 大鶴 勝, 森田美芽, 大島健二郎(2), 西上千栄子, 糸島聖書集会, 野上勇次, 河内常男, 高島邦生, 池永タケコ, 古川直子, 青木, 川井浩三, 白瀬小一郎, 井本敦幸, 匿名

790,000 円

トルコ&ギリシア地震救援金

岩村義雄, 神戸国際キリスト教会, 大島健二郎, 廣瀬素子, 榎日進, 孫 正浩, 久留島琴, 中道澄春&春江, 太田登志, 神戸聖福教会(3), 李敬淑(3), 合同会社 Bless 泉 真姫(4) 澤野重男, 本田寿久, 土手ゆき子, 土手 朋, 石井泰代, 的野慶子, 新井克英(千葉県館山), 池永タケコ, 安田吉三郎, 三宅幸子, 豊原大成[全国仏教会前理事長], 白瀬小一郎, 村田優美子, 神戸朝鮮高級学校, 許 敬, 竹内喜子, 中山圭子, 畑谷恵美子, 三浦一敏(宮城県石巻市), 苅部真砂子, 吉持志保, 秋田喜代子, 緒方俊一郎(熊本県球磨郡), 岩間 洋, 岩間千恵子, 白方誠彌(2), 沖浦宏隆(千葉県布良), 遠藤美智子, くまがいマキ, 島内糸夫, 藤原りつ子, 「小さくされた人々のための福音」講座(2), 千葉幸一(宮城県石巻市)(2), 山本桂, 岩崎勝行, 袴田康裕, ハミダグジョー株式会社, 住谷圭造, 新免 貢, 阿部和夫・斉子(宮城県石巻市), 東原良学, 藤原光代, 山野英雄(宮城県大崎市), 有年米子, 野崎和子, 神部隆三, 有限会社吉田興業 吉田 明, 神戸新聞会館聖書の言葉シリーズ, 第10回平和合同祈禱会, 泉 晴代, 山本美和子, 徳留由美, アシュラムセンター, 榎本 恵, 鳥飼慶陽, 松崎 徹, 松崎真里, 原田洋子(事務局), 坂上順子, 渋谷智恵美, 祐照寺(古川真照住職), 小菅あゆみ, 宮氏道夫, 豊島睦子, 都倉久子, 村田義人, 藤井悦子, 石川雅也, 沖 菜穂子, 村上安世, 小久保玲子, 池田久美子, 主イエス恵愛教会, 高橋 務, 小島千鶴, 本田洋子, 穴戸義光(宮城県石巻市), 池口美喜子, 熊野千秋, 嶋田博信&礼子(千葉県布良), 垂水朝禱会, 酒巻喜代香, 丹野恵子(宮城県石巻市), 藤野知香, 中外日報社, 藤 玄洋(朝倉市西宗寺住職), 岩崎 謙, 畑 夏月, 坂本直子, 在日大韓基督教会神戸教会, 匿名

1,354,044 円

フードバンク関西から提供は炊き出しに役立っています。生活協同組合コープこうべからたくさんの米, アルファ米, 飲料水などを提供していただきました。山本勝さん, 岸本豊さんから小松菜, 水菜, レタス, パセリ, 大根, ジャガイモなど, 森岡忠義さんから柿80個をいただきました。久留島琴さんからたくさんのカイロ, 藤原秀浄(法専寺住職), 豊原正尚(西福寺)からも米, 横山豊有(無障金剛院)住職からの米を感謝します。丹野典彦さん, 「社説新聞」平塚宏行&淳子ご夫妻, 丹野恵子さんから海苔を提供していただきました。玉の肌石鯨株式会社の三木晴雄会長からクリスマスケーキを今年も70ホール提供されました。